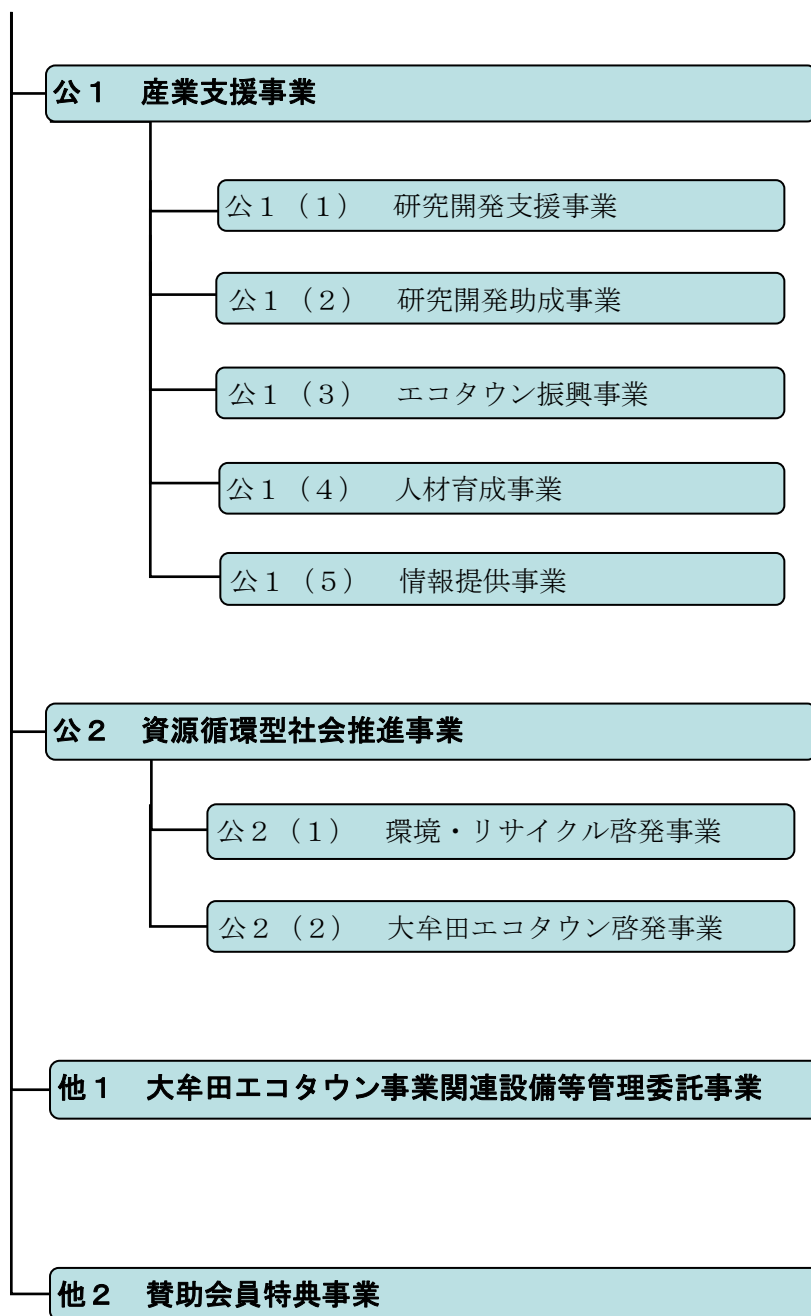


# 平成29年度事業報告

## 体系

### 大牟田市地域活性化センター



# 事業

## 公1 産業支援事業

### 公1-(1) 研究開発支援事業

#### ①技術アドバイザー支援事業

企業の技術課題解決に向けた相談対応や、新事業展開及び新製品開発等に関する補助制度の紹介、補助事業採択及び経営力向上計画認定に向けた申請支援等を行った。

【実施期間】 平成29年4月1日～平成30年3月31日

【配置人員】 技術アドバイザー（2名）

訪問企業数	相談支援件数	支援概要
243社（延べ）	104件	・技術相談に関する支援 8件 ・補助金申請に関する支援 59件 ・その他支援 37件

#### ②産学連携コーディネーター支援事業

新技術、新製品開発のための産学官連携支援等を行った。

【実施期間】 平成29年4月1日～平成30年3月31日

【配置人員】 産学連携コーディネーター（1名）

訪問企業数	相談支援件数	支援概要
101社（延べ）	25件	・新製品、新技術の開発に関する支援 4件 ・学術研究機関等との連携に関する支援 5件 ・地域内外の企業間連携に関する支援 5件 ・地域の企業からの相談、その他に関する支援 11件

#### ③取引拡大アドバイザー支援事業

受発注情報・製品情報のデータ活用及び関係機関等との連携を図り、取引拡大に係る取引先の紹介・斡旋等を行った。

【実施期間】 平成29年4月1日～平成30年3月31日

【配置人員】 取引拡大アドバイザー（2名）

訪問企業数	相談支援件数	取引に係る支援概要
202社（延べ）	124件	・成立 10件 ・継続 11件 ・不成立 4件

#### ④産学官連環交流会の開催

地域企業の技術革新等の進展を目的に、学術研究機関による産学連携の取組み事例の発表等を行った。

【会 場】 ホテルニューガイアオームタガーデン

開催日	内 容	参加者
2月9日 (金)	<p>【基調講演】 「発想と挑戦が切り拓く未来への鍵」 株式会社ツカダ 代表取締役 塚田 浩生 氏</p> <p>【シーズ&amp;事例発表】</p> <p>①「子ども目線で考える、未来につながるまちづくり」 福岡大学工学部社会デザイン工学科交通・都市システム研究室 助教 吉城 秀治 氏</p> <p>②「寄附講座「人工知能・ビジネス講座」が目指すもの」 有明工業高等専門学校 寄附講座特命助教 野口 卓朗 氏</p> <p>③「作業療法におけるヘルスプロモーション」 ～ひとと作業、健康との関係を考え、社会の健康増進に貢献～ 帝京大学福岡医療技術学部作業療法学科 准教授 轟木 健市 氏</p> <p>【制度説明】</p> <p>①経済産業省九州経済産業局地域経済部産業技術課 ②福岡県商工部中小企業技術振興課 ③大牟田市産業経済部産業振興課 ④大牟田商工会議所地域振興課</p>	105名

## 公1-(2) 研究開発助成事業

地域企業の振興を目的に、技術開発・研究開発を進める企業の掘り起こしを行い、本財団助成事業の実施、大牟田市助成事業の実施支援及び国等の助成事業採択を目指した相談対応、申請支援等を行った。

### ①地域活性化センター技術開発助成 (補助上限1件当たり1,000千円)

採択企業	事業概要
KMアルミニウム(株)	砂型鋳物製作用の砂材料変更による産業廃棄物削減 ※平成29年度からの2か年事業として採択

### ②大牟田市ものづくり企業技術開発支援助成 (補助上限1件当たり3,000千円)

採択企業	事業概要
(株)四ツ山食品	マーケティングを活用した自社農園トマトの鍋スープ開発
(株)カネヤス	有明海産物加工食品の商品開発とその製造技術の確立
(株)九州テクノサービス	クーリングタワーのリユースと、メンテナンスにおける作業効率の改良
(株)総本家黒田屋	草木饅頭の品質向上並びに作業工程の効率化
お菓子のキタハラ	重筋労働手作業等機械化による菓子製造工程改善と業容向上

トータルケア・システム(株)	廃SAPの輸送コスト削減を目的としたSAP脱水処理反応の効率化とSAP除去装置の多段階による廃SAPの減容 ※SAP：Super absorbent Polymer 高吸水性高分子
(有)津留製菓	新商品開発のために餡練機を増設し業績の向上を図る

### ③補助金申請支援

#### ・経済産業省（＜H28年度補正分＞革新的ものづくり・商業・サービス開発支援補助金）

採択企業	事業概要
(株)いなだ豆	顧客の増産要請に応えるための新たに開発した豆菓子乾燥・選別装置の導入
(有)宮崎蒲鉾	顧客から好評の「揚げたてホカホカ天ぷら」の機械化による増販と業容拡大
中島物産(株)	基幹業務システムの導入による業務の効率化と顧客満足度向上による業容の拡大
(有)清柳食産	柳川ブランド <sup>®</sup> 認定レトルトカレー「柳川黄金博多和牛カレー」製造の機械化による増産と業容拡大
佐東ウェルディング	業界の要請に応え業容拡大および生産性向上のための自動溶接加工設備の導入
(有)田島鉄工建設	3次元CADデータを活用した、けがき作業ロボット化の構築と生産性の向上
(株)もんどF.Dカンパニー	高齢者施設、介護事業所向けの宅配・デリバリー事業の開始に要する新調理システム導入と業容拡大
(株)アート	顧客の納期短縮、画質向上の要請に応える為の最新型インクジェットプリンター導入による業容拡大

#### ・九州環境エネルギー産業推進機構（K-RIPプロジェクト）

採択企業	テーマ
中島物産(株)	ベトナムにおけるエビ養殖生産性向上に資するファインバブル装置開発

#### ・経済産業省（戦略的基盤技術高度化支援事業）（H28年度採択事業の継続）

継続採択企業	テーマ
トータルケア・システム(株)	紙おむつ焼却量の削減および処理料金低減を目的とした、紙おむつ由来プラスチックの脱塩素処理技術等による、紙おむつの完結型マテリアルリサイクルプラントシステムの開発
I & Tニューマテリアルズ(株)	電池の大容量化、充放電速度の高速化及び高サイクル特性並びに低コスト化を目的とした、アルミニウム繊維を集電体として用いた革新的リチウムイオン電池の開発

#### ・（一財）九州産業技術センター（機械工業振興チャレンジ研究調査（委託金））

採択企業	テーマ
日高合金(株)	低気孔率の高品位鋳物製造プロセスの開発

・福岡県リサイクル総合研究事業化センター（研究会）（H28年度採択事業の継続）

継続採択企業	テーマ
(有)大牟田エコクリーン・メタウォーター(株)・(公財)大牟田市地域活性化センター	微粉炭汚泥をフッ素溶出防止材として利用した廃石膏由来地盤改良用固化材の開発

公1-(3) エコタウン振興事業

大牟田エコタウンにおける新産業創出のための諸事業を総合的かつ効率的に推進することにより、地域の活性化に資することを目的として、エコタウン振興基金事業（現在規模：約40,000千円）として、エコタウンや周辺地域の環境保全に資する技術及び製品開発等に対し、補助または自ら行うものである。

29年度は、エコタウン周辺環境保全事業を自ら実施した。

実施場所	実施概要
大牟田エコタウン 北部隣接地	側溝整備工事 ・U型側溝(片側透水タイプ) L=51.12m

なお、本事業により取得したU型側溝は、市有地上に設置していること、また、近隣の市設置側溝と一体的に管理することが効率的であることから、大牟田市へ寄付した。

公1-(4) 人材育成事業

地域企業や研究者等の技術向上、人材育成等を目的に、大牟田市、大牟田商工会議所、有明工業高等専門学校等と連携し、次のセミナー、講座を実施し、または共催した。

開催日	内 容	参加者
7月3日	環境リサイクルビジネスセミナー 「IOTで進化する廃棄物処理・リサイクルビジネス」	64名
7月25日	経済セミナー① 「日中貿易のこれからと人民元の国際化の動向」	41名
8月29・30日 9月4・5日	ISO9001内部監査員養成講座	29名
11月8・9日 11月15・16日	ISO14001内部監査員養成講座	31名
11月28日	貿易実務講座	58名
2月21日	食品製造業に対するセミナー(HACCP関連)	15名
2月23日	経済セミナー② 「トランプ政権の政策動向が産業に与える影響」	51名
3月12・13日	品質管理セミナー	5名

## 公1-(5) 情報提供事業

### ①「財団だより」の発行

当財団が実施した研究開発支援事業や助成事業等の各種事業を取りまとめ、企業に向けて情報発信した。

また、市民向けにイベント概要等を情報発信した。なお、市民向け財団だよりは、市内小学校全児童に配布した。

企業向け	市民向け
1, 000部	7, 000部

### ②「元気企業だより」の発行

素晴らしい技術やユニークなアイデア等を持って、地域経済の活性化に向け頑張っている企業等5事業者を採り上げ、概ね2月に1回、本活性化センターホームページに掲載するとともに、市内中学校へ印刷物として10部程度を配布し情報発信した。

また、5事業者分を取り纏めた元気企業だよりを8, 300部作成し、市内公共施設に設置するとともに、市内中学校の3年生、市内高校の全生徒及び有明工業高等専門学校(専攻科含む)の全学生に配布した。

また、5事業者中4事業者には、FMたんととの番組にて情報発信した。

紹介企業	テーマ
(有)菓子のイトー	日本の素材で日本の洋菓子を作る・お菓子作りは幸せづくり！！
旅館清風荘	商工会議所と二人三脚で老舗和風旅館での文泊を進める
大牟田電子工業(株)	プリント基板業界で、小粒でもピカリと光る
(株)ダイチ	出来ないと言わない！をモットーに躍進を続ける
矢部川電気工業(株)	世界オンリーワンの装置開発で、ものづくり日本大賞受賞

### ③ホームページ及びメーリングリストによる情報提供

ホームページ「環境リサイクルe情報おおむた」、「活性化センターホームページ」を随時更新し、また、賛助会員やこれまでに支援した事業者等をメーリングリスト(252件)として取り纏め、各種助成金制度の紹介やイベント情報等を提供した。

H28アクセス件数	H29アクセス件数
22, 181件	24, 945件

### ④地域企業のPR

大牟田市や大牟田商工会議所等と連携し、各種イベントに参加し企業紹介を行った。

開催日	イベント	概要
10月11～13日	エコテクノ2017 (西日本総合展示場)	大牟田エコタウン立地企業紹介等
10月18～20日	モノづくりフェア2017 (マリンメッセ福岡)	研究開発事例の企業紹介

10月22日	三井化学オオタムフェスタ	産学連携事例の企業紹介
10月25日	しんきん合同商談会	企業支援機関コーナーへ出展

## 公2 資源循環型社会推進事業

### 公2-(1) 環境・リサイクル啓発事業

#### ①おもしろ科学教室の開催

自然環境やリサイクル、ものづくり等に興味を持つ契機とすることを目的に、小学生を対象としてデンカ㈱と連携して科学教室を開催した。

開催日	内 容	参加者
8月5日	光るスライム、瞬間シャーベット作り	61名 (保護者42名)

#### ②親子わくわく環境講座の開催

資源や環境の大切さについて学習することを目的に大牟田市環境部と連携し、小学生を対象として環境講座を開催した。

開催日	内 容	参加者
7月27日	植物でアートに挑戦！夏の草花たたき染め	24名 (保護者17名)
8月4日	親子で楽しくシードペーパー作り	親子22組
8月18日	里山からの贈りもの ～メッセージガーデン作り～	48名 (保護者29名)
8月21日	親子で楽しくエコキャンドル作り	親子23組

### 公2-(2) 大牟田エコタウン啓発事業

#### エコタウンフェアの開催

大牟田エコタウンの紹介及び環境、科学、物づくりに関する啓発を目的に、有明工業高等専門学校や環境団体等と連携してフェアを開催した。

期 日	内 容	参加者
11月12日	<体験> ・ロボット大集合、真空の不思議な世界（有明高専） ・オリジナルマイペットボトルづくり（デンカ㈱） ・エコイズ&発電競争（環境部）	4,000名

	<p>&lt;工作&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペットボトルキャップでヨーヨーづくり</li> <li>・麻ひもでプランターハンギングづくり</li> <li>・イースターエッグのポップリづくり (株トキワビル商会)</li> <li>・学童イス製作、カンバッチ製作 (大牟田市シルバー人材センター)</li> </ul> <p>&lt;紹介&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大牟田エコタウンパネル展示</li> <li>・産学連携事例パネル展示 (福岡大学産学連携室)</li> <li>・電動アシスト自転車試乗会 (九州車輛販売(有))</li> <li>・健康サービスカー「ミールック」で健康チェック (有明乳業)</li> </ul> <p>&lt;イベント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グリーンカーテンコンテスト表彰式等 (環境部)</li> <li>・フリーマーケット、ステージイベント、スタンプラリー等</li> <li>・物産・飲食販売</li> </ul>	
--	---	--

## 他1 大牟田エコタウン事業関連設備等管理事業

大牟田市からエコタウン事業用地内の共益設備維持管理業務を受託し、下水道ポンプや調整池等の適正な維持管理を行った。

対象施設	下水道ポンプ施設、海水混合槽、洪水調整池、工業用水電磁流量計 等
------	----------------------------------

## 他2 賛助会員特典事業

当財団の目的に賛同する法人74社より年会費1万円を受領し、合計額の60%を公益目的事業、その余を特典事業等に使用した。

### ①公益目的事業

環境リサイクルに関する市民意識の向上、環境にやさしいまちづくりに寄与することを目的に、「公2 資源循環型社会推進事業」に使用した。

### ②特典事業

#### ・情報提供事業

各種セミナーの開催や研究開発助成の公募情報等をメール配信するとともに、併せて当財団のHP等にて賛助会員(企業)をPRした。また、6月9日に賛助会員交流会を開催し、会員企業2社から事業活動の発表を頂き、合わせて、会員企業の情報交換を行った。

#### ・研修等助成

賛助会員が、技術向上を目指した有料の講習会等へ参加する場合、年間5,000円を上限として参加費を助成するもので、助成申請はなかった。



・施設利用助成

賛助会員が、エコサックセンターを利用する場合、年間3,000円を上限として利用料を助成するもので、助成申請はなかった。

## **管理費（法人会計）**

当財団事務を適正かつ円滑に執行した。

## **事業報告の附属明細書**

事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。